



高中だより

平成28年11月24日
11月号

杉並区立高井戸中学校
杉並区高井戸東1-28-1

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaidochu>

教育目標 ゆたかな人 ねばり強い人 たくまい人 よく考える人

手

校長 萩原 正己

秋が終わり冬の訪れを感じさせる風の音に驚く季節となりました。いよいよ湯豆腐などの鍋物が恋しくなってくる頃ですね。今年、秋の収穫物を地方から東京に運び路上で売っていた方お二人から、桃とキノコを買う機会を得ました。桃を売っていたのは三十歳位の若者で、福島県から運んできたとのこと。風評被害などで困っていると言うので、「せめてもの復興応援」とばかりに買い求めました。しかし、代金を支払うとき妙な違和感を感じたのです。お金を受け取り、桃を手渡してくれた若者の手が女性の手のように白くて細く、綺麗だったのです。子供の頃、夏休みになると父とトウモロコシや梨などを農家に買いに行ったときに見た、あの農家の人々の黒くて分厚い手とはかけ離れていたのでは違和感を感じたのでしょうか。ふと農作物が載せられている小型のトラックを見ると、レンタル車両であることを示す東京の「わ」ナンバーでした。「やられたかな？」と思い家に帰って桃を食べてみると、あまり甘みのない残念なものでした。後味の悪い桃に自分の顔がゆがむのを抑えられませんでした。

それからしばらくして、やはり路上でキノコを売っているお爺さんに出会いました。今度は山梨から来たとのことでした。色々な種類のキノコがありました。山から採ってきた物、栽培した物、仕入れた物などがあるとのことでした。説明に一生懸命なお爺さんの、その手を見ると、昔見た、あの農家の方の手と同じ手だったのです。停車している車も山梨のナンバーだし、このお爺さんの手なら大丈夫と幾種類かのキノコを買いました。その晩のキノコ汁は秋の味覚を口いっぱいに感じさせてくれました。

私が「手」を見て、これなら大丈夫と思ったのは、その手が働き者で正直者の「手」だったからです。毎日毎日畑に出て農作業をしてきたお爺さんの手は、お世辞にもスマートとは言えません。ですが、分厚くて太く、少し不格好な黒い手は何十年も働き続けてきた手でした。人を欺かず自分自身に嘘をつけない人間の手でした。「手」はその人の人生を背負っているとしみじみと思ったのです。

それならば、私の手はどうか。改めて自分の手を眺めてみると「やっぱりスマートな手とは言えないな」と思ったのですが、あることに気づきました。右手の中指の先の内側には「ペンだこ」が残っているのです。パソコン相手にキーをたたくようになって何年たつのでしょうか。ペンを握って原稿用紙に向かうことを忘れていました。それでも、私の指に残る「ペンだこ」に思わずにやんと笑ってしまいました。これが、私という人間を生きてきた「手」そのものなのです。

さて、「手」というと、どうしても忘れられないあるお婆さんの手があります。数年前に北海道の札幌で出会った「手」でした。その「手」が語りかけてくるものに私の目は釘付けとなり、今となっては忘れられない手となったのです。

札幌のとある食堂のカウンターで、北の海で獲れた魚をつついていた時のことです。私の席の斜め前で食器を洗う、少し腰の曲がったお婆さんの姿が目に入りました。普通、洗い場は店の奥の一番目立たない場所に設置するのになあ〜、とぼんやり眺めていたのですが、あることに気づいたのです。時々お婆さんの横に6個程並べられた、湯沸かしポットのお湯をシンクに注ぎ込んでいるです。・・・ということは、蛇口から出ているのはお湯ではない。・・・お婆さんの手は真っ赤になっていました。冬の札幌の水です・・・冷たいなんて生やさしいモノではないはず。それでもお婆さんは洗い上げた食器を光に当ててみて、仕上がりを確認しながら黙々と洗っていたのです。お婆さんがこのお店でこんな風に洗い場を担当するようになったのは、それなりのいきさつもあったのでしょうか。お店が洗い場にお湯がでるようにしないのも何かの理由があるのかも知れません。しかし、目の前のお婆さんがかじかむ手を真っ赤にしながら、それでも自分の納得のいく仕事をやり遂げようと働いている姿は美しいと感じました。そして、私が注文した焼き魚を乗せたこのお皿もお婆さんが洗ってくれたものと、何やら分からない強い感動の気持ち湧き上がってきたのです。

これから三年生は否応なしに受験に向かいます。その時、焦り・劣等感・嫉妬・不安感・・・自分のなかのマイナスの感情は誰もが経験するものです。しかしそれを乗り越えるのは友人や仲間との一体感であり、自分はやれるだけのことは全てやっているという自負の心です。十五歳の試練は、誰かが代わりにやってくれるものでもありません。自分自身の手で切り拓いていかなければ何も解決しないものです。その苦労は十五歳の中学生にとって押し潰されそうに感じるくらい重く苦しいものに違いありません。

しかし、苦労の結果はちゃんと身に付くものなのです。苦労もせずに手に入れたものに、人は価値も魅力も感じないばかりか身に付くものは何もないのです。苦労から逃げずに真正面から立ち向かっていったという事実が人間を大きくしているのです。高校入試は人生の結果ではありません。大学も然り。大切なことはそこで自分が何をするか、どんな風に生きるかなのです。そしていつか自分の生き方に誠実な素敵な手の持ち主になってほしいと願っています。

【生徒の活動の様子】

震災救援所訓練 10月30日(日)

中学生レスキュー隊、中学生有志ボランティアが参加し、震災救援所訓練が行われました。消防士、地域の方々と一緒に中学生も真剣に取り組みました。



1年校外学習・下町方面 11月1日(火)

「TOKYO」(友達と思い出を心にきざみよく見て知って成功をおさめよう)のスローガンのもと、下町方面の校外学習を実施し、友達と協力しながら、行動することの大切さを学びました。事後学習として、班行動の新聞作りにも取り組んでいます。



2年校外学習・鎌倉方面 11月2日(水)

「いざ鎌倉の地へ～高中生としての志を持ち、人間力を高めよう～」のスローガンのもと、古都鎌倉の歴史と文化にふれ、人任せではなく、自分から行動することの大切さを学びました。



連合文化祭(セシオン杉並にて)

11月5日～8日に連合文化祭が行われ、高井戸中からも美術・技術・家庭科・サイエンスグランプリ・演劇部が出品、出演しました。どれも力作ばかりで、見事なできばえでした。



高中ミニコンサート 12月3日 10時～12時

高井戸中・高井戸小・浜田山小・高井戸東小の地域の子ども地域促進事業として体育館でコンサートが行われます。皆様お誘い合わせの上、おいでください。

12月の予定

日	曜	給食	主な行事
1	木	◎	
2	金	◎	
3	土		ミニコンサート 10時～12時
4	日		
5	月	◎	生徒朝礼・教育相談始(1～3年)
6	火	◎	
7	水	◎	口腔保健指導1年
8	木	◎	
9	金	◎	教育相談終・PTA
10	土		土曜授業・食育講演会1年・地域清掃2年・図書館講演会3年
11	日		区駅伝大会
12	月	◎	専門委員会
13	火	◎	
14	水	◎	職員会議
15	木	◎	中央委員会
16	金	◎	避難訓練
17	土		
18	日		
19	月	◎	保護者会2年
20	火	◎	
21	水	◎	美化活動
22	木	×	終業式・職員会議
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月		冬季休業日始
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

道徳授業地区公開講座 11月26日(土)

1時間目は1年生が「40年前、アンネのバラと高井戸中学校をつないだ卒業生の話」(愛校心)、2時間目は2年生が「私の銀蔵」(遵法精神)、3年生は「二通の手紙」(遵法精神)の読み物資料を用いた道徳授業を行います。3時間目は体育館で「生き方を考える」というテーマでパネルディスカッションを行います。保護者、地域の皆様、どうぞご参観下さい。

杉並区中学校対抗駅伝2016 12月11日(日)

女子の部9:45～ 男子の部10:45～
済美山運動場にて 応援よろしくお願ひします。